

日本鉄鋼協会記事

理 事 会

第7回理事会 開催日：10月22日。出席者：芝崎副会長，他 36 名。

1. 来年度通常総会および春季講演大会会場の件
当初予定の東大が紛争のため使用できなくなつたため会場を東京工大に変更する。会期は44年3月28日～30日となるとの報告があり承認された。
2. 東洋レーヨン科学技術賞，科学技術研究助成，大河内賞各候補推薦
表彰奨励選考分科会で選考したとおり東レ科学技術賞2件，同研究助成2件，大河内賞4件の候補を推薦することを決定。

企 画 委 員 会

第7回委員会 開催日：10月14日。出席者：吉崎委員長，他 15 名。

1. 来年度通常総会，春季講演大会会場の件
当初予定の東大が紛争のため，東工大に変更する予定で，会期は44年3月28日～30日となる旨報告があり，承認された。
2. 東洋レーヨン科学技術賞，科学技術研究助成，大河内賞各候補推薦
表彰奨励選考分科会で選考したとおり東レ科学技術賞2件，同研究助成2件，大河内賞3件の候補を推薦することを企画委員会として決定。
3. クライマックス，モリブデン社資金の件
同社からの文献賞設定について，同種の申出が他社からもあつた場合の処置，協会の既存の各賞との関連などにつき討議が行なわれたが，さらに継続審議する。

編 集 委 員 会

第4回運営委員会 開催日：10月22日。出席者：荒木委員長，他 14 名。

1. 第76回講演大会の講演者よりのアンケートに基づき大会のやり方を討議した。
2. 依論文賞選考に関する内規改正については他学会のものも参考にし更に検討することとなつた。

第8回和文会誌分科会 開催日：10月8日。出席者：荒木主査，他 15 名。

1. 論文審査報告
12件の報告があり，掲載可11件，修正依頼1件。
2. 第54年第14号(12月号)掲載論文については，論文6件，展望1件，委員会報告1件を選定した。
3. 論文勧誘について
第76回講演大会の座長メモにより，委員が分類別に担当し選択することになった。

第8回欧文会誌分科会 開催日：10月14日。出席者：橋口主査，他 12 名。

1. 原稿審査報告

論文3件が掲載可と決定された。

2. 論文脚注に研究場所を表示するかどうかについて疑問が出されたが，分科会としては特に強制はしないで著者の意向に従うことに決められた。

3. 8巻6号に掲載予定の索引の体裁が決まつた。

第7回講演大会分科会 開催日：10月18日。出席者：草川主査，他 19 名。

報告事項

1. 第77回講演大会会場ならびに会期変更について
会場 東京工業大学
会期 昭和44年3月28，29，30日，31日……見学会。
(27日は材料強度と破壊シンポジウム)
第77回講演大会討論会テーマ
加工 型材の圧延について 座長 五弓勇雄君
(その他の部門は前回決定)

協議事項

1. 第77回講演大会申し込み締切りにについて
締切りは1月24日(金)。なお概要集に関する作業のうち，原稿査読とプログラム編成は1日ですることとなつた。
2. 講演分類について
今回は従来どおりとし，今後更に検討を重ねることとなつた。
3. アンケート中間集計について
スライド枚数の制限，他学会，金属学会との調整，最終日のプログラム，座長選定，休憩時間のとり方，講演の質の低下など，アンケートの中間報告をもとに反省がなされた。

第7回出版分科会 開催日：10月9日。出席者：佐藤主査，他 15 名。

「鋼の熱処理」について

- 1) 問題のある原稿は7件
- 2) 小委員会において全体の体裁を整える作業を進めている。
- 3) また小委員会において図面原稿の重複のチェックを行なつたが，トレースした図面は著者校正後査読者が体裁をチェックすることとした。
- 4) 目次ページに掲載する項目をチェック。

共 同 研 究 会 品 質 管 理 部 会

第20回部会 開催日：10月3，4日。出席者：辻畑会長，他 90 名。

一般研究発表件数は16件であつたが，そのうちの大部分が電子計算機による管理体制に関するものであつた。

特別講演として名古屋工業大学の草場郁郎教授により「最適化の方法」というテーマのもとに講演が行なわれた。

研究発表終了後，富士製鉄名古屋工場を見学した。

標準化委員会

第26回普通鋼分科会 開催日：9月27日。出席者：山岡圭査，他 15 名。

現在審議中の IIS G 3193 (熱間圧延鋼板鋼帯の形状寸法および重量ならびにその許容差) と JIS A 5526 (H 形鋼グイ) につき、両分科会担当幹事より、審議状況の中間報告がなされた。

第2回 JIS 熱間圧延鋼板と鋼帯の形状寸法および重量
ならびにその許容差原案分科会 開催日：10月8日、出
席者：吉田主査、他 名。

第1回分科会で出された各業界の本JISに対する問題点、要望に従い、鉄鋼メーカー側で第1次原案を作成し

たので、審議を行なつた。席上提起された問題として、鋼板の刻印の問題、表の記述方法、直角度、平坦度など次回までに検討することになつた。次回は12月5日。

石炭成型法委員会

第5回委員会 開催日：10月2日。出席者：久田委員長，他 名。

西独における連続成型コークス製造法について、石炭技術研究所および富士製鉄が調査を行なつたので、その出張報告が同席で行なわれた。同委員会は当初の目的である装入炭嵩密度測定を終了しているが上記成型コークス製造法に対してどのように取り組んでいくかを検討することを確認した。

新 入 会 員 氏 名

(昭和43年 9 月 1 日～30日)

正 会 員			正 会 員			正 会 員		
田中 英彰	住友金属工業(株)鋼管		福田 次男	〃	広畑	坂本 義信	寺崎 ティクニカルデ	
高橋 啓三	〃	〃	柏村 英樹	八幡製鉄(株)技研			ベロブメントセンター	
鈴木 良昌	〃	小倉	野田 勝利	〃	〃	松下 浩二郎	中野 ハガネ(株)	
田辺 正	〃	〃	中島 剛	〃	君津	平川 長生	日特金属工業(株)	
平井 武樹	〃	和歌山	生田 高紀	〃	光	田中 顕英	明治機械(株)	
高島 啓行	〃	中技研	伊藤 真人	日本鋼管(株)京浜		近藤 芳夫	富士重工業(株)	
宇佐美 恭平	〃	製鋼所	篠原 司郎	〃	〃	北島 晟	西武化学工業(株)	
兼貞 靖行	(株)神戸製鋼所 神戸		徳永 寿己	〃	技研	松尾 国彦	(株)栗本鉄工所	
蔵本 勝次郎	〃	〃	小倉 英彦	〃	福山	成瀬 文雄	東亜合成化学工業(株)	
立松 英夫	〃	〃	小林 禎樹	大同製鋼(株)知多		湖口 正昭	住倉工業(株)	
中原 利昭	〃	〃	前川 晃一	〃	〃	星野 正治	秋田県工業試験場	
門脇 元則	〃	尼崎	小沢 正俊	〃	中研	山岡 幸男	京都大学	
桜井 稔久	〃	東京	足立 孝夫(株)	日本製鋼所室蘭		相馬 詢	北海道大学	
池田 良雄	〃	〃	菊地 幸弘	〃	〃	香川 昌宏	東北大学金材研	
片伯部 忠行	川崎製鉄(株)千葉		山内 昌忠	(株)日立製作所勝田		張 東植	東京大学生産技研	
武田 紘	〃	〃	梅尾 鉄夫	東洋工業(株)		学 生 会 員		
沖 真人	〃	水島	大友 暁	石川島播磨重工業(株)		岡 裕	京都大学工学部	
松本 旭	〃	〃	阿部 正則	特殊製鋼(株)		波戸 浩	〃	
志賀 千晃	川崎製鉄(株)技研		上村 隆夫	川崎航空機工業(株)		吉本 宏	〃	
渡辺 修司	〃	〃	龍神 毅	海南鋼管(株)		東 敏宏	京都大学大学院	
葛西 信雄	富士製鉄(株)名古屋		庄司 雄一	北海鋼業(株)		阿尾 陽司	鉄鋼短期大学	
金野 恵一	〃	〃	佐伯 英治	光洋熱処理(株)		小田 富佐雄	〃	
滝田 道夫	〃	本社	河村 淳一	大阪窯業耐火煉瓦(株)		緒方 政信	〃	
阿部 清治	〃	釜石	西 英正	日本検査(株)		末 孝俊	関西大学大学院	
			渋谷 勲	東洋金属化学(株)		太田 芳雄	東海大学大学院	